

※金額は、万円未満切捨

45億 1,821 万円

予算
可決

国民健康保険 特別会計

引き続き医療費適正化と効率的な運営に努力

予算のあらまし 国民健康保険特別会計の予算額は、前年度に対し約1億2700万円増加となっています。本年度も財源不足を補うため1億5000万円を一般会計から繰り入れていきます。国保財政の健全化を図るため、「健康づくりチャレンジ・ポイント事業」をはじめ、特定健診受診率と特定保健指導実施率の向上、ジェネリック医薬品の普及啓発、慢性腎臓病保健指導事業などにより、医療費の適正化と効率的な運営に努めるものです。

賛成
です

1万円の保険料の引き下げとすべての人に保険証を

田母神節子議員

反対
です

国民皆保険は、必要なとき必要な医療が受けられる世界に誇る医療制度である。資格証明書7名、短期保険証63名で、保険料が払えなければ保険証は渡されない。年1万円の値下げで、すべての人に保険証を渡し、病気が重症化しないうちに、だれもが必要なきに必要ない医療が受けられるようにすべきと考える。

3億 1,028 万円

予算
可決

後期高齢者医療 特別会計

健診費用助成のほか健康づくり事業も

予算のあらまし 町では、運営主体である埼玉県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料納付通知書の送付と徴収、給付申請などの窓口事務を行っていきます。また、高齢者の健康維持と介護予防などのため、健康増進事業である健康診査や人間ドック費用の助成を引き続き実施していくとともに、高齢者の健康の保持増進のため、ふるさと健康体操などの健康づくり事業にも取り組んでいきます。

賛成
です

1日も早い廃止と75歳以上の医療費の無料化を

田母神節子議員

反対
です

75歳になると別の保険に入るといって、世界にも例のない医療制度である。運営を行っている、埼玉県後期高齢者広域連合議会の状況も見えない。2013年度は、保険料も値上げのようだ。75歳以上の医療費は無料にすべきと考える。

12億 7,132 万円

予算
可決

水道事業会計

収益的収入は1.8%の増加を見込む

予算のあらまし 彩の国資源循環工場第Ⅱ期建設が完了したことにより、前年度比12.2%減額予算となりました。また、ホンダ寄居工場の本格稼働が予定されており、給水収益は4600万円の増収となり、収益的収入は1.8%の増加となります。施設整備では公共下水道事業等の公共事業にあわせ、配水管の新設や増径を行うとともに、計画的な老朽管の更新を進め、安定供給に努めます。

賛成
です

10立方メートル以下基本料金の1日も早い設定を

田母神節子議員

反対
です

景気低迷により年収200万円前後の世帯が増加し、基本料金内世帯が4169世帯と増加傾向にある。ホンダ寄居工場の稼働に伴う水の大量使用が考えられるため、節水している世帯へ、10立方メートル以下の基本料金の1日も早い設定が必要である。

8,325 万円

予算
可決

農業集落排水事業 特別会計

折原地区が今年度から本格稼働に

予算のあらまし 昨年7月に供用開始となった折原地区が、今年度から本格稼働となります。予算としては、前年度比6%の減額となっていますが、これは施設整備が完了したことによるものです。既に供用を開始している今市及び用土中央地区については、適切な維持管理を行うとともに、本管への排水接続を促して水質保全を図っていきます。

賛成
です

予防事業などの取り組みで財政改善の姿勢を評価

神田 崇議員

急速な高齢化により医療費が増加する一方で、税収の増加が見込めない状況の中、一般会計から多額の繰り入れが行われるという非常に厳しい財政状況が続いているが、予防事業や町民の健康づくりにも積極的に取り組み、国保が置かれた厳しい状況を改善しようとする姿勢を評価する。

5億 2,915 万円

予算
可決

下水道事業 特別会計

寄居駅南、男衾駅周辺で面整備を実施

予算のあらまし 昨年度着手した寄居駅南地区では23ヘクタールの面整備を行います。この整備により、寄居駅南地区の面整備は完了となります。22年度から整備を進めている男衾駅周辺地区も6.8ヘクタールの面整備が実施されます。

賛成
です

今後も、町民が安心して医療給付が受けられるよう努力を

大久保幸夫議員

健康診査や人間ドックなどに意欲的に取り組むとともに、健康づくり事業の推進により、高齢者の健康増進と医療費の増加抑制に努めている姿勢を評価する。今後も、広域連合と連携し、町民が安心して医療給付サービスが受けられるよう努力していただきたい。また、高齢者に対して分かりやすく親切な対応と保険料の確保に努めていただくよう要望する。

賛成
です

安定給水の強化と災害に強い水道づくりに努力を

瀧澤 忍議員

ホンダ寄居工場の本格稼働に伴う給水収益を的確に見込むとともに、公共事業に合わせた配水管の布設や漏水事故の防止、震災対策を踏まえた老朽管の更新事業を計画的に進めており、水道事業の使命とも言える安定供給に努めていることがうかがえる。今後も安定給水の強化、災害に強い水道づくりに努めるとともに、町民が安心して利用できる水道水を供給するため、特段の努力を要望する。

賛成
です

水道の利用増に備え、配水管の整備が重要

原口 孝議員

町民・利用者の方々に安全で安心、おいしい水の提供を心がけ、必要不可欠な諸事業を行っている。今後、ホンダ寄居工場資源循環工場等が開業、また、企業誘致等による水道水の利用増加が見込まれる中、老朽管の更新・配水管整備等は、ますます重要なポイントである。企業運営も、職員の努力により黒字決算である。今後も安全で安心、おいしい水の万全なる供給体制づくりを要望する。

面整備…各家庭や工場などから排出される汚水を取り込む下水道管を整備すること。終末処理場まで流す幹線とともに、一定の区域で一体的に整備が進められます。

次のページは「農産物加工施設及び管理に関する条例を制定」ほか